

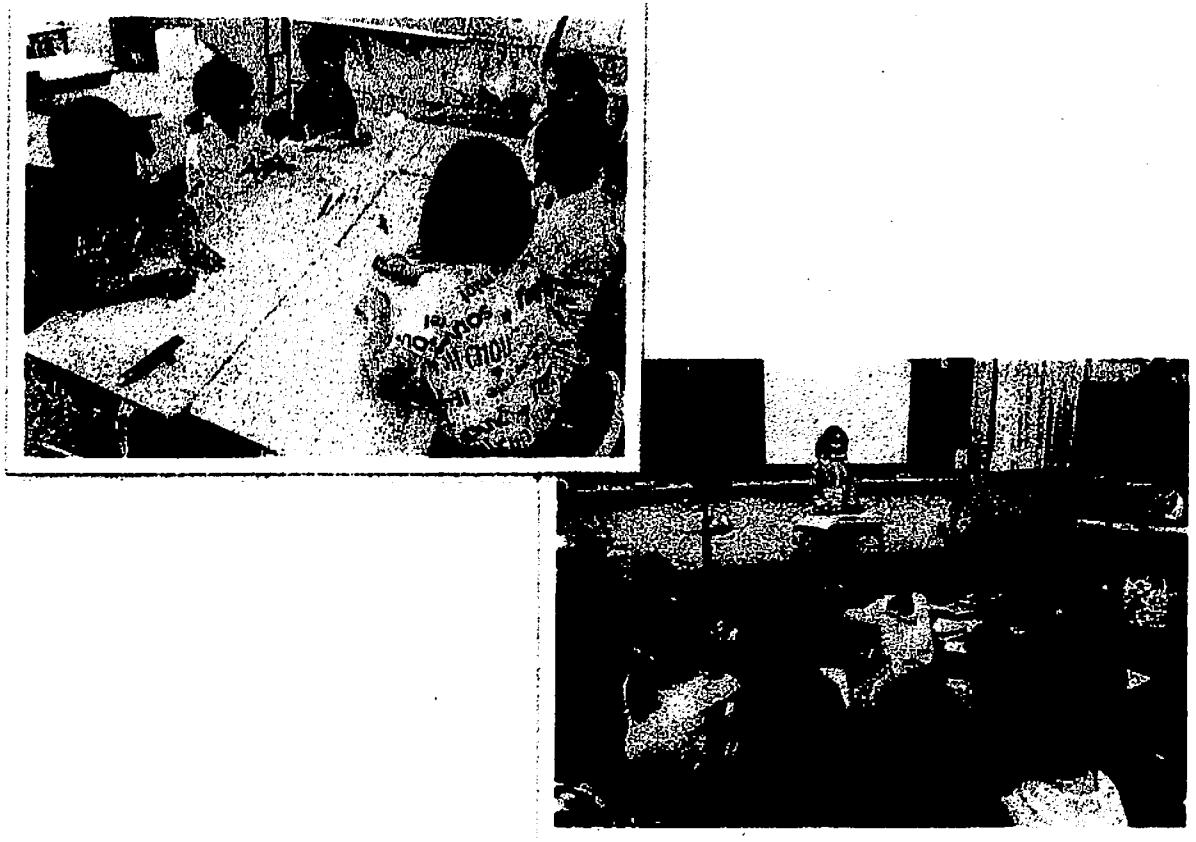
第69次 印旛地区教育研究集会

国語科「話す・聞く」分科会 提案資料

研究主題

主体的に自分の思いや考えを伝え合う児童の育成

～意欲を育む話すこと・聞くことの言語活動～



令和元年8月27日（火）
第5部会 四街道市立吉岡小学校
野田 夏未
四街道市立山梨小学校
熊谷 純子

目次

I 研究主題	P 1
II 主題設定の理由	P 1
III 研究仮説と手立て	P 3～P 5
IV 授業実践	
・吉岡小学校 3年2組の実践	P 6～P 13
V-1 手立てに対しての児童の変容	P 14～P 18
・山梨小学校 4年1組の実践	P 19～P 26
V-2 手立てに対しての児童の変容	P 26～P 34
VI 成果と課題	P 35～P 36

I 研究主題

主体的に自分の思いや考えを伝え合う児童の育成

～意欲を育む話すこと・聞くことの言語活動～

II 主題設定の理由

(1) 今日的な教育課題・学習指導要領から

現代、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術改革等により、社会構造や雇用環境は大きく、急速に変化しており予測が困難な時代になっている。こうした変化の一つとして、人工知能（A.I.）の飛躍的な進化を挙げることができる。

このような時代にあって、学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他人と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようになることが求められている。

国語科学習指導要領の思考力、判断力、表現力の目標は「日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。」となっている。低学年では、「自分の思いや考えをもつこと」、中学年では「自分の思いや考えをまとめる」と、高学年では、「自分の思いや考えを広げること」と、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことなどができるようにすることを系統的に示している。

このような力は、人工知能では補いにくいものと考える。だからできる関わり合い、伝え受けとめ合いをしながら互いの思考を高め生きる力の育成を求めて、本研究主題を設定した。

(2) 学校教育目標から

【吉岡小学校】

学校教育目標

「考える子・心豊かな子・強い子」の育成

めざす学校像

- 自ら考え、学び合う子どもを育てる学校
- 情報共有を心がけ、保護者にとって安心感の持てる学校
- 教職員が協働し、生き生きと働く学校
- 地域と共にある学校

めざす児童像

- よ よく考える子ども
- し 心身ともに健康な子ども
- お 思いやりのある子ども
- か 感性豊かな子ども

めざす教師像

- 明朗快活で心身ともに健康な教師
- 児童一人一人を大切にする教師
- 研修に努め自ら指導力を高める教師
- 連携に富んだ教師集団

【山梨小学校】**学校教育目標**

心豊かに 学びを拓く 実践人
～人や自然を大切にし、社会に学びを拓く児童の育成

めざす学校像

- 地域社会と関わり合いながら自ら学び、確かな学力を備えた心身ともに健やかな児童の育成
- たてわりを中心とした集団活動での規範意識や思いやりの心の育成
- 人や自然を大切にし、地域を愛する児童の育成

めざす児童像

- や やる気満々山梨っ子
- ま 真心いっぱい山梨っ子
- な 仲よし仲間山梨っ子
- し 幸せいっぱい山梨っ子

めざす教師像

- 自ら指導技術の向上や専門的知識の習得に励む教師
- 児童や保護者の願いや思いに耳を傾け、誠実に対応する教師
- 互いに良い所を認め合い、協力し合って児童を育成する教師
- 教育公務員としての高い倫理観と使命感を持ち、児童や保護者から信頼される教師

吉岡小では学校の教育活動全体を通して「生きる力」を育むことを目指している。変わっていく社会に対応するために、「知・徳・体」をバランスよく身に付けることが必要だと考える。また、主体的・対話的で深い学びができるように、自ら考え、行動しようとする頑張りを認め合うことで、自信をもち、次の学びにつなげていくことが重要だと考えた。めざす児童像の「よく考える子ども」とは、国語科の学習において、課題に対し、自分の意見や考えをしっかりと持ち、自ら進んで伝え合うことができる姿であると考える。

山梨小では、学校の教育活動全体を通して人や自然、物との関わりの中で生きる力を育むことを目指している。「知」「徳」「体」のバランスを取りながら地域との連携を図り、社会に対応していく力を身につけさせ、未来を自分で切り開いていく児童の育成を目指している。

国語科の学習においても様々な体験や交流活動を通して思いや考えを培い、伝え合える力を養うことに重点が置かれている。

(3) 研究主題のとらえ方

① 「主体的に伝え合う」について

主体的に伝え合うとは、自分の意見や考えを進んでもち、自分の言葉で伝えていく姿である。互いの考え方を聞き合い、話し合いをすることで、他と自分の考えの共通点や相違点に気づき、より合意形成をしながら見つけていこうとする姿を求めていく。

② 自分の思いや考えを伝え合う児童について

物事を自分の言葉で認識し、考えをめぐらせる力や相手の気持ちを理解し合う言葉の力、理解してよりよいものを形成しようとする学びに向かう人間性は、児童が生きる上で重要な力と考える。特に、「伝え合う力」は、めまぐるしく変化するこれからの時代を豊かに生きていく資質、能力として必須の力である。そのため、自分の心でとらえ、考え、それを人と伝え合える児童の育成を求めていく。

III 研究仮説と手立て

仮説1 身近にある題材をもとに学習の目的を設定すれば、意欲が高まり、思いや考えを主体的に伝えることができるだろう。

手立て1：身近にある題材を活用するための工夫

① 話し合いBOXの設置

話し合いBOXの中から、話し合いの議題を、児童が楽しみにしている『お楽しみ会』を学習のゴールにすることによって、意欲を引き出させる。

② 小中一貫教育における中学校区での協力体制

2校の児童は話し合うことに対する意識は違うが、2校とも中学年としての話し合いが成立しているとは言い難い現状にある。山梨小の4年生の実態は、話し合うことに対して自信がない上に実際に話し合いをしても、積極的に話し合っているとは言えない。吉岡小の3年生の実態は、話し合うことに対しては自信があるが、実際に話し合いをすると、十分に意見を交流させて話し合うことはできていない。そこで、学年は違うが、同じ中学年の目標の下にお互いにアドバイスをし合い、高め合えるのではないかと考えた。今回の実践では、話し合う内容を集め、モデルとなったりゴールに相手となったりする形で協力し合って実践を進めた。(・話し合いBOX等のアイディアのアドバイス・吉岡小の魅力を紹介するビデオレターの作成・ビブリオバトルのモデル)

手立て2：話し合い活動の工夫

① 主体的に伝え合う場の設定を工夫する。

- ・司会者が話し合いを進行できるように、2種類のヒントカードを用意し、自分にあつたカードを選ばせることによって、司会者が進行をしやすいようする。(①台詞が全て書いてあるもの②進行の流れが書いてあるもの)
- ・全員に自分が提案したい遊びの内容と長所をワークシートに書かせ、全員が発表をする機会を作ることによって自信をもって自分の意見を言えるようにする。
- ・全体で意見を集約できるように、グループ→全体の手順で話し合いを行わせ、お楽しみ会に自分の意思が反映するような話し合いの場を設定する。
- ・話し合う時間とメモをとる時間を分けて設定することで、集中して活動できるようにする。
- ・学習前と学習後の話し合いの様子をビデオに撮って見せ、話し合い方の変容に気付かせ、自分たちの成長を振り返り、次の学習に意欲的に取り組めるようにする。
- ・記録者のノートを発言者と対応させながら確かめさせ、議事進行に役立て、話し合いの過程や結論を保存することで、意見の混乱を防ぐようする。

② 役割の工夫

- ・個々がどんな仕事をするのか役割を明確にすることにより、意識化を図り、活動内容を工夫させる。
- ・どの役割がどんなことをするのか自分ですぐに確認できるように確認シートを持たせる。
- ・役割の名札を付けることで、誰がどの役割をしているのか明確にする。

仮説2 学習形態や方法を工夫すれば効果的に伝え合うことができるだろう。

手立て1 学習の見通しと意欲付け

- ① 児童とともに学習計画を立て、活動目的をはっきり意識させて、見通しをもたせる。
- ② ビブリオバトルのモデルを上一年の児童に示してもらうことによってビブリオバトルに興味をもたせ、概要をわかりやすく知らせて、イメージをふくらませやすくする。
- ③ 「チャンプ本」に選ばれた本は、図書室に紹介コーナーを設けることを知らせ、学習意欲をもたせる。
- ④ 個に応じた指導を工夫する。
 - ・2年生のときに学習した「きつねのおきやくさま」をビブリオバトルに取り入れることにより、本の概要をつかむことや構成を考えるのが苦手な児童でもとりかかりやすいようにする。

- ⑤ 紹介する本のポップや帯をつくる活動に事前に取り組むことで、物語の概要を楽しんでつかむ機会を設定する。

手立て2 学習形態や方法の工夫

- ① 本のテーマを「きつねの出てくる物語」に絞ることによって、共通点や相違点が見つけやすいようにする。
- ② 同じ本を選んだ共通の小グループ内の発表から→中グループ→大きなグループと形態をかえることによって、回数を重ねさせ、発表の仕方や聞き方、ディスカッションの仕方が上達できるようにする。
- ③ ディスカッションや投票の場面を取り入れることによって、聞く側がチャンプ本を選ぶときに話す側の発表を集中して聞く必要感をもたせるようにする。

手立て3 効果的な伝え方の工夫

- ① 相手に読んでみたいと思わせるような発表原稿の構成を考えるために、様々な言葉の表現方法を指導し、活用させる。
- ② 発表の方法として、ペーパーサート・さし絵・音読の3つにしぶって、効果的に発表させ、聞き手が比較しやすい発表にする。
- ③ 発表原稿を考える際に、メモで一度整理させることによって自分の伝えたいことを吟味させ、相手に伝わりやすい構成を考えさせる。

IV 授業実践

仮説1 身近にある題材をもとに学習の目的を設定すれば、意欲が高まり、思いや考えを主体的に伝えることができるだろう。

吉岡小学校3年2組の実践

1 単元名 係の活動について考え方～お楽しみ会に向けて学級会を開こう～

2 単元について

(1) 単元観 本単元は、学習指導要領の以下の内容に基づいて設定したものである。

第3学年及び第4学年 新学習指導要領

(思考力、判断力、表現力－話題の設定、情報の収集、内容の検討)

ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

(思考力、判断力、表現力－話すこと)

イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

(思考力、判断力、表現力－聞くこと)

エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

(思考力、判断力、表現力－話し合うこと)

オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。

教育出版「小学国語上巻」第五单元『たからものをしょうかいしよう』に続く「話すこと・聞くこと」の单元である。そこでは、紹介するものがなぜ自分にとって宝物であるのかを相手に伝える活動をしてきた。そこで身に付けた「理由を挙げて話す力」を本单元でも発揮させていく。また、話し合いの系列としては、二年上巻第七单元『「グループ発表会」をひらこう』に関連しており、ここでも合意形成のためのグループの話し合いが中心であった。本

単元ではさらに、司会者や提案者、記録者などの役割、また発言者としての役割を果たしながら、全員で意見を一つに集約していく力をつける。

本学級の児童は、話し合いへの意欲は高いが、自分の意見に固執する姿も見られる。合意形成にいたるには、「譲り合う」ではなく、お互いの考えの共通点や相違点を捉え、司会者が整理をし、それぞれの考えを反映させて、一致点を見付けていくことが重要である。

教科書の「話し合いの様子」では、発言例の上に発言者（司会者・提案者）の役割などを意識した心の動きを吹き出しで示し、話し合いのポイントを示している。話す側、聞く側についての着眼点となるため、実際の話し合いに入る前に活用させる。また、記録者のノート例を発言者と対応させながら確かめさせ、議事進行に役立てたり、話し合いの過程や結論の保存として役立てたりすることを意識させていく。

(2) 児童の実態 (男子15名 女子14名 合計29名 H30.11.9実施)

質問	解答 (%)	理由
・国語のどんな学習が好きですか。 (複数回答可)		
	時を書く	17人
	物語を読む	11人
	話し合い活動	6人
	文章を書く	5人
	時を読む	3人
	漢字	2人
	俳句を作る	2人
	グループ活動	1人
・お話することは好きですか。	とても好き 11人 (38%)	楽しいから 8人 気持ちがよくなる 4人 自分のことを知ってもらえる 3人
	好き 11人 (38%)	伝えたいことが伝わる 2人 話すことが好き 2人 話すとすっきりする 2人 わくわくする 1人
	あまり好きではない 5人 (17%)	上手に話せない 2人 自信がない 2人 友だちが少ない 1人
	好きではない 2人 (7%)	話す気がない 1人 話すよりも他のことがしたい 1人

・お話を聞くことは好きですか。	とても好き	9人 (31%)	楽しいから	7人
	好き	17人 (59%)	おもしろい	4人
			たくさんの考えが聞ける	3人
			自分と違う意見が出るから	3人
・みんなの前で話すとき、気を付けていることは何ですか。 (複数回答可)	あまり好きではない	2人 (7%)	新しい発見がある	3人
	好きではない	1人 (3%)	わくわくする	2人
			悩みが聞ける	1人
			無回答	3人
・話を聞くとき、気を付けていることは何ですか。 (複数回答可)	最後まで聞く		話したことがあまりない	1人
	他の人とおしゃべりをしない		聞いていない	1人
	話している途中で口を挟まない		興味がない	1人
	耳と目の両方で聞く			
	よい姿勢で聞く			
	相手の目を見る			
	質問をする			
	うなずく			
・クラスで話し合うことは好きですか。	・好き	28人 (97%)	いろいろな意見が聞ける	12人
			楽しい	5人
			話すことが好き	3人
			すっきりする	2人
			自分の意見が貰える	2人
			みんなの気持ちが聞ける	1人
			みんなで考え方される	1人
			意見を出し合える	1人
	・苦手	1人 (3%)	緊張して話せない	1人

「お話をすることは好きですか」の質問では、「楽しいから好き」、「話していると気持ちがよくなる」と答えている児童が76%と多い。友達同士で同じ趣味の話や学校での話をしている児童をよく見かける。あまり好きではない・好きではないと答えている児童は、24%となった。理由は、「上手に話せない」など話すことに自信がない児童が多いことが分かった。

「お話を聞くことは好きですか」の質問では、とても好き・好きと答えている児童が90%とクラスの大半を占めている。苦手な児童の理由としては、「友達の話に興味がない」、「聞いていない」と答えている。残りの10%の児童については、普段の姿を見ていると友達と会話をしている姿をよく見る。興味のある話は楽しんで行えるが、伝えたい事の中心を押さえて話したり、友達の発表を聞いて自分の考えを伝えたりすることは苦手だと感じる。

これまで国語の授業の初めに、スピーチを行ってきた。「みんなの前で話すとき気を付けていることは何ですか」の質問では、「わかりやすい言葉で話す」や「本当のことを話す」が上位にあがった。「話を聞くときに気を付けていることは何ですか」の質問では、「最後まで聞く」や「話している途中に声を挟まない」が多く上がった。

「クラスで話し合うことは好きですか」の質問では、クラスの大半が「好き」と答えた。一人の児童が緊張して話せないために苦手だと答えた。学級全体としては、話し合いの時間に積極的に話し合いに参加している児童は半分にも満たない。大半の児童が話し合いを見ているだけで、提案をしたり質問をしたりする児童は少ないと感じる。

(3) 指導観

3年生も後半になり、児童の中でもクラスで話し合いたいことや友達に聞いてほしいことが増えてきた。そこで、「クラスをもっとよくするにはどうしたらよいだろうか。」と尋ねると、どうしたらよいのかわからず、戸惑ってしまっている様子が伺えた。そのため、小中一貫教育の中で交流のある中学校区の山梨小の4年生に「クラスでの問題をどのようにして解決しているのか。」と質問すると、「話し合うための議題箱を設置し、そこに課題を入れるようにして学級で話し合って解決している。」との回答を得た。そこで、自分たちのクラスでも実践してみたいと意見が出たため、いつでも話し合いのテーマにしたい情報を入れられるように『話し合いBOX』を設け、テーマを募集する。

募った話し合いのテーマを元に、児童だけで話し合い活動を行う。その様子をビデオに撮っておき、話し合っている様子を見せる。見せた後に、話し合いをする時に必要な役割やポイントについて話し合わせる。3学年のねらいとして、①司会者は話し合いを進行すること、提案意見の共通点と相違点を見つけること②記録者は誰が見ても分かりやすい記録をとること③提案者は理由を付けてはっきりと意見をいうことの3つが挙げられている。3つのねらいを児童に押さえながら学習のゴールとなる2学期のお楽しみ会を開くための話し合いを設定することにした。

5~6人のグループを作り、役割を決める。役割は、司会者・提案者・記録者の3つと時

計係を設定した。時計係は、児童が時間を気にせずに話し��けてしまうことを防ぐために設定した。話し合いを自分たちだけで進めた経験がない児童たちがスムーズに話し合えるよう、司会者に原稿のヒントカードを持たせる。ヒントカードを見て司会を行わせることで、自信を持って進めさせたい。学年の終わりには、ヒントカードがなくても話し合いが進められるよう指導をしていきたい。

3 単元の目標

- 相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。
(思考力、判断力、表現力—話すこと)
- 必要なことを記録したり質問したりしながら聞くことができる。
(思考力、判断力、表現力—聞くこと)
- 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えを持つことができる。
(思考力、判断力、表現力—聞くこと)
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
(思考力、判断力、表現力—話し合うこと)
- 日常の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を進んで選ぶことができる。
(学びに向かう力、人間性)

4 指導計画（9時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	評価規準(評価の観点・評価方法)
一次	1	・『話し合いBOX』に提案されたテーマを元に児童だけで話し合い活動を行う。	・友達の意見を聞き、自分のやりたい遊びを考えることができる。 (聞くこと) (発表)
	2	・1時間目に行った自分たちの話し合いの姿を見て、必要だと感じた役割や、話し合いのポイントについて、教科書の「係の活動について考えよう」を使って学習する。	・話し合い活動にはどんな役割が必要なのか話し合うことができる。 (話し合うこと) (ノート)
	3		

	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者や提案者、記録者が行う役割について読み取り、理解をする。 ・グループを組んで3つの役割の文章を交互に読み、わかつたことについてふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者や提案者、記録者の役割について理解し、グループでわかつたことについて話し合うことができる。 (話し合うこと)〈ノート〉
二次	6	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで役割を決め、『お楽しみ会でしたいこと』について案を出し、その中から提案するものを3つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会でしたいことについて全体で案を出し、その中から自分のやりたい遊びを意欲的に決めることができる。 (学びに向かう力、人間性)〈発表〉
	7 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの提案をし、共通点と相違点を見付け話し合い、各グループで一つの提案に絞る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞こうとしている。 (聞くこと)〈ワークシート・発表〉 ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合おうとしている。 (話し合うこと)〈発表〉 ・互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (話し合うこと)〈ワークシート〉
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出た提案を元に学級全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞こうとしている。 (聞くこと)〈ワークシート〉 ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合おうとしている。 (話し合うこと)〈発表〉 ・互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (話し合うこと)〈ワークシート〉

三次	9	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで決定したことについて実施計画を立て、話し合いを行う。(学級活動) ・1回目に話し合ったときの姿と最後に話し合ったときの姿の映像を見て自分たちの成長を確認し、次の話し合い活動に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いをしている姿を客観的に見て、自分たちの変わったところを話し合うことができる。 (話し合うこと) (発表)
----	---	--	---

5 本時の指導

(1) 本時の目標

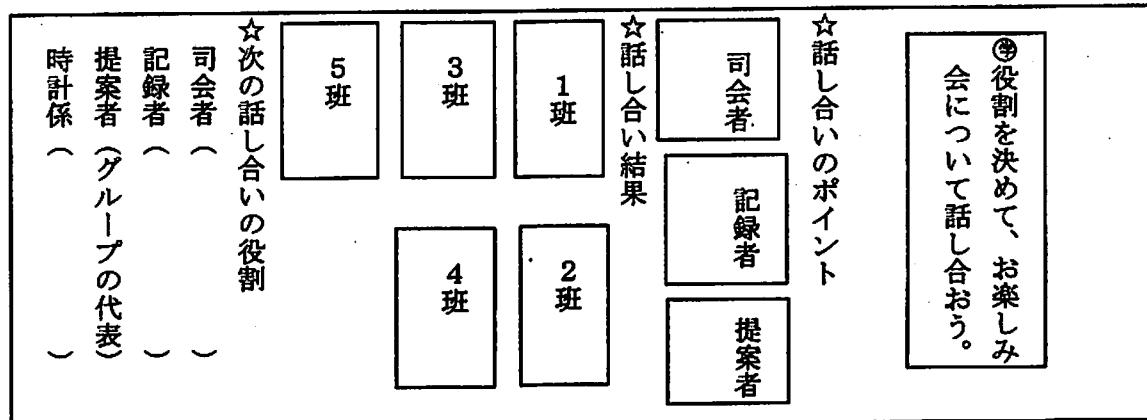
- 必要なことを記録したり質問したりしながら聞くことができる。
(思考力, 判断力, 表現力—聞くこと)
- 互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
(思考力, 判断力, 表現力—話し合うこと)
- 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら意欲的に話し合うことができる
(学びに向かう力, 人間性)

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	<p>1 話し合いの仕方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ④役割を決めて、お楽しみ会について話し合おう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの仕方を全体で確認させる。 ・提案をするときは必ず理由をつけて話すように指導する。 	司会のヒントカード 提案のヒントカード 配録用紙
2 3	<p>2 グループに分かれて、司会者を中心に話し合いを行う。</p> <p>○司会者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進め方を確認し、相違点や共通点を見つけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要なことを記録したり質問したりしながら聞こうとしている。 (聞くこと) (ワークシート・発言) ○目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合おうとしている。 (話し合うこと) 	ホワイトボード

	<p>○記録者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容がわかるように、提案者の提案や理由を記録する。 <p>○提案者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案だけではなく、必ず理由をつけるようにする。 <p>「〇〇を提案します。理由は〇〇だからです。」</p>	<p>○互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。 (話し合うこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会をするときに必要な言葉を集めた司会のヒントカードを元に司会をさせる。 ・提案をするために、提案の方や理由の述べ方を理解させ、ヒントカードを見ながらでも理由が話せるようにする。 ・発表をするときは、理由もしっかりと話すようにさせる。 <p>・記録者にグループで話したことなどを発表させる。</p> <p>・提案のあとに必ず理由を付けるようにさせる。</p> <p>・ふり返りを行い、次時にはクラス全体で話し合いをすることを提示する。</p>	<p>司会のヒントカード</p> <p>ホワイトボード</p> <p>ふり返りカード</p>
12	3 話し合った結果を全体で発表する。		
5	4 ふり返りを行う。		

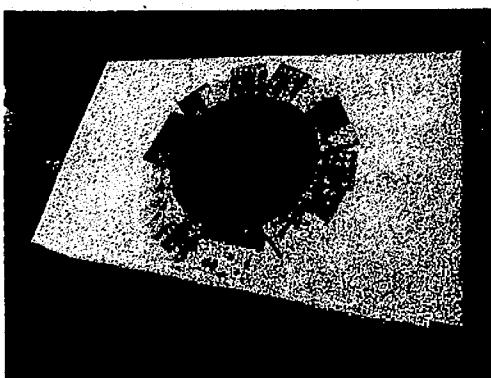
(3) 板書計画



V-1 手立てに対する児童の変容

手立て1 身近にある題材を活用するための工夫

- ① 話し合いの内容を自分たちで見つけ、常に話し合える場を作ったため、主体的に話し合いを行おうとする姿勢が見えた。



山梨小の友達から教えてもらつたいつでも話し合いができる話し合いBOX

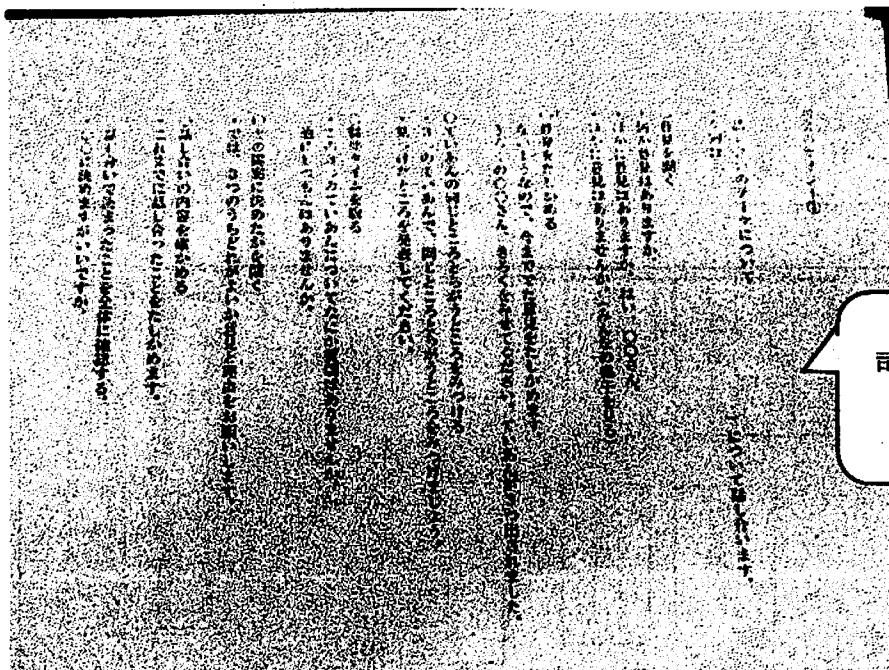
- ② 小中一貫教育における中学校区での協力体制

・話し合い活動を円滑に行うにあたり、話し合う内容を見つける手がかりを山梨小の4年生からアドバイスをもらったため、児童から議題を集めた内容を意欲的に話し合うことができた。

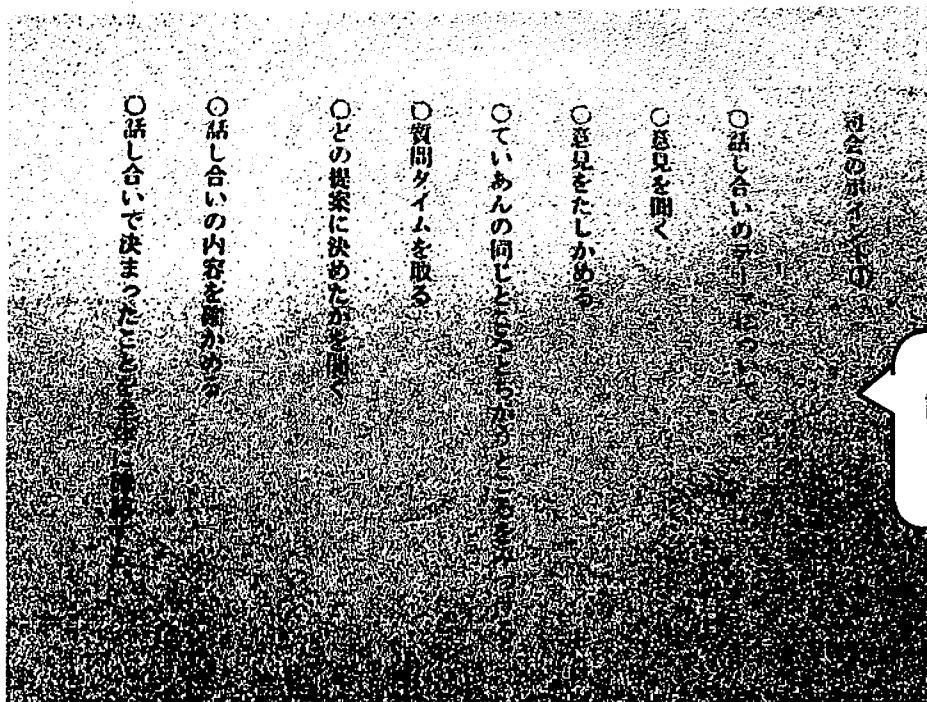
手立て2 話し合い活動の工夫

- ① 主体的に伝え合う場の設定

・司会者が話し合いを自ら進行出来るように、2種類のヒントカードを用意することで、児童一人でも司会をすることができた。

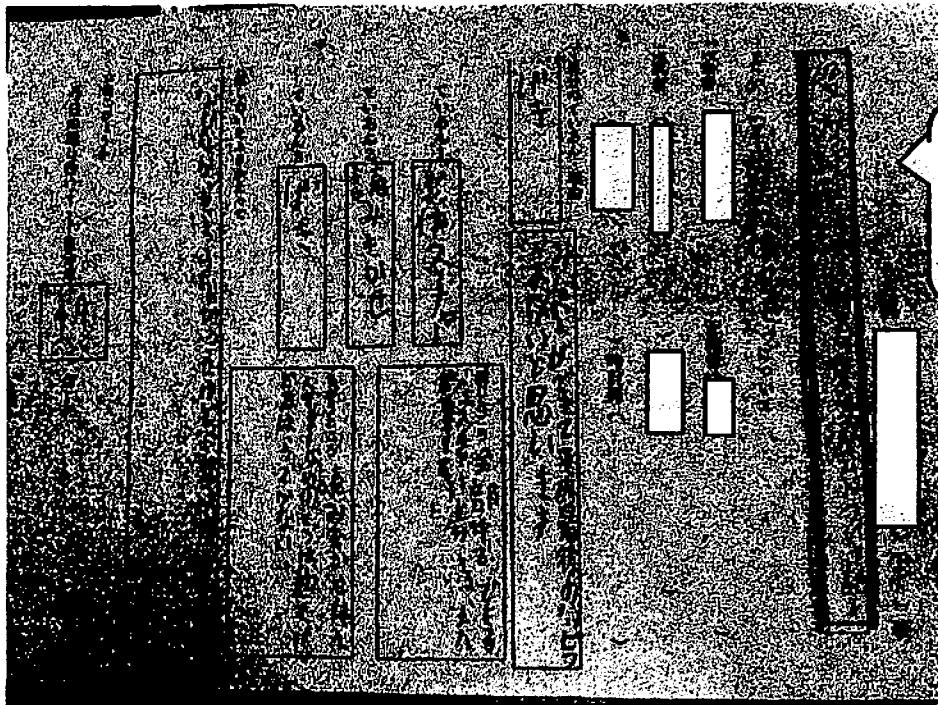


司会の台詞が全て載っている
ワークシート



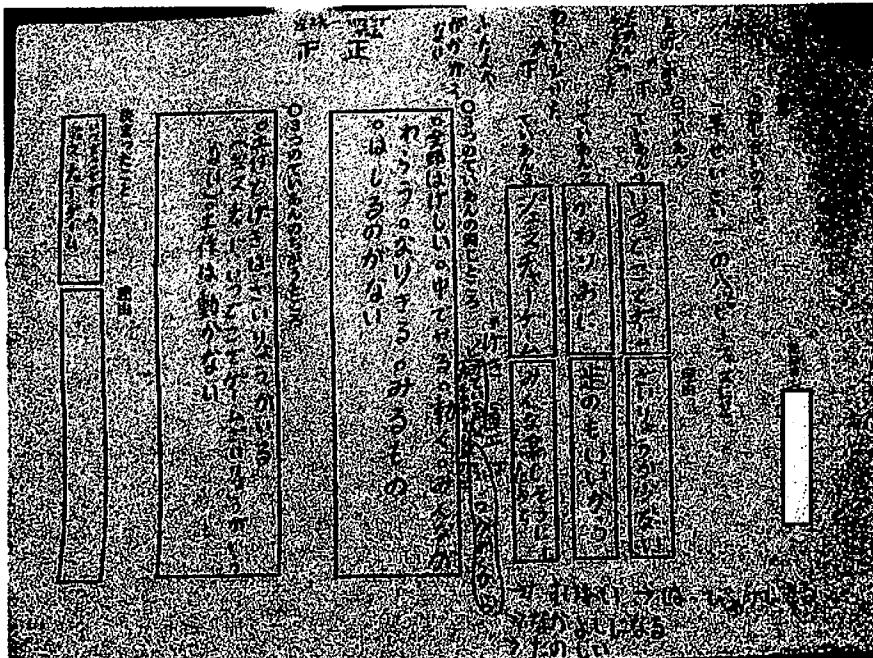
話し合いの流れのみの ワークシート

- 自分が提案したい遊びの内容と長所をワークシートに書かせ、整理させることで、自信をもって発表することができた。



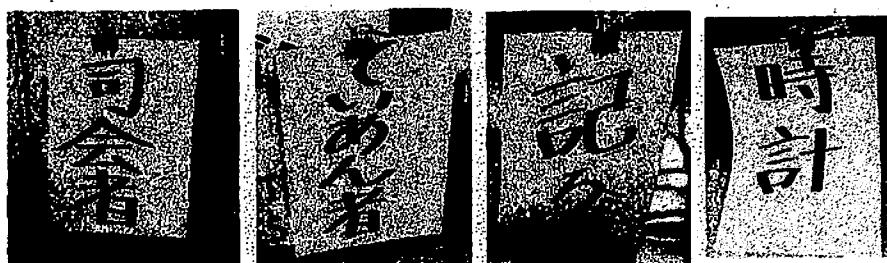
自分の提案を書く ワークシート

- ・記録者に話し合いの議事録を取らせることによって、聞き逃しを防ぎ、意見の混乱を防ぐことができた。

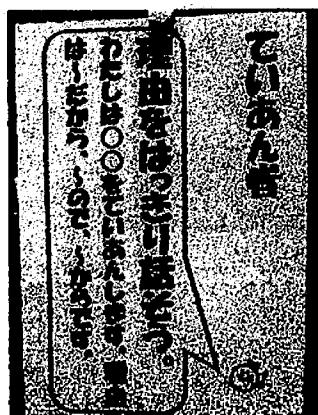


② 役割の工夫

- ・個々の役割を理解し、それぞれが名札をつけることで、意欲的に話し合い活動に取り組むことができた。



- ・提案をするときに理由もしっかりと話せるように確認シートを持たせたことにより、提案者はしっかりと理由も付けて話せるようになった。



提案者には理由もしっかりと話せる
ように確認シートを持たせた。

児童の変容

話すことが苦手なA児

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	10010	10011	10012	10013	10014	10015	10016	10017	10018	10019	10020	10021	10022	10023	10024	10025	10026	10027	10028	10029	10030	10031	10032	10033	10034	10035	10036	10037	10038	10039	10040	10041	10042	10043	10044	10045	10046	10047	10048	10049	10050	10051	10052	10053	10054	10055	10056	10057	10058	10059	10060	10061	10062	10063	10064	10065	10066	10067	10068	10069	10070	10071	10072	10073	10074	10075	10076	10077	10078	10079	10080	10081	10082	10083	10084	10085	10086	10087	10088	10089	10090	10091	10092	10093	10094	10095	10096	10097	10098	10099	100100	100101	100102	100103	100104	100105	100106	100107	100108	100109	100110	100111	100112	100113	100114	100115	100116	100117	100118	100119	100120	100121	100122	100123	100124	100125	100126	100127	100128	100129	100130	100131	100132	100133	100134	100135	100136	100137	100138	100139	100140	100141	100142	100143	100144	100145	100146	100147	100148	100149	100150	100151	100152	100153	100154	100155	100156	100157	100158	100159	100160	100161	100162	100163	100164	100165	100166	100167	100168	100169	100170	100171	100172	100173	100174	100175	100176	100177	100178	100179	100180	100181	100182	100183	100184	100185	100186	100187	100188	100189	100190	100191	100192	100193	100194	100195	100196	100197	100198	100199	100200	100201	100202	100203	100204	100205	100206	100207	100208	100209	100210	100211	100212	100213	100214	100215	100216	100217	100218	100219	100220	100221	100222	100223	100224	100225	100226	100227	100228	100229	100230	100231	100232	100233	100234	100235	100236	100237	100238	100239	100240	100241	100242	100243	100244	100245	100246	100247	100248	100249	100250	100251	100252	100253	100254	100255	100256	100257	100258	100259	100260	100261	100262	100263	100264	100265	100266	100267	100268	100269	100270	100271	100272	100273	100274	100275	100276	100277	100278	100279	100280	100281	100282	100283	100284	100285	100286	100287	100288	100289	100290	100291	100292	100293	100294	100295	100296	100297	100298	100299	100300	100301	100302	100303	100304	100305</

話すことが得意なB児

△	○	○	△	○	△	△
△	○	○	△	○	△	○
△	○	○	△	○	△	○
△	○	○	△	○	△	○

話をするとどうにか伝わるか、またまとめてわかりやすく話すにはどうしたよいかわからなかった。

要點をまとめて、理由もつけて話しをすることで、相手にわかりやすく話すことができるようになった。

話し合いの様子



仮説2 学習形態や方法を工夫すれば効果的に伝え合うことができるだろう。

山梨小学校4年1組での実践

1 単元名

「読書発表会」をしよう ~ビブリオバトルで本の魅力を伝え合おう~

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の以下の内容に基づいて設定したものである。

第3学年及び第4学年 新学習指導要領

(思考力、判断力、表現力等一話すこと)

イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えること。

ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。

(思考力、判断力、表現力等一聞くこと)

エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

(思考力、判断力、表現力等一話し合うこと)

オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること

(思考力、判断力、表現力等一書くこと)

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

(学びに向かう力、人間性等一)

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書し、国語を大切にして、思いや考え方を伝え合おうとする態度を養う。

本単元は、教育出版社小学校国語4年下の「読書発表会」をしようの単元の中にビブリオバトルを取り入れた。ビブリオバトルに取り組むことにより人との関わりの中で本の良さを知り本と人を介して、読み広げていくことができる考える。また、ビブリオバトルは、ゲーム感覚で楽しみながら取り組めるという点から、普段話すことや聞くことが苦手を感じている児童も取り組みやすいのではないかと考える。また、ビブリオバトルに取り組むことにより、聞き手を意識しながら話すことができ、相手や目的を意識して話す力を高めていく

ると考える。同様に、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える、聞く力もつけることができると考えた。さらに、話し合う活動を加えることにより、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる力もつけていけるのではないかと考えた。

ビブリオバトルは、2007年京都大学から広まった論読回・読書会、または勉強会の形式でbiblio(本)のbattle(戦い) = 「知的書評合戦」とも呼ばれている。各自が「読むべき本=人に薦めたい本」を持ち寄り、5分間の制限時間内でプレゼンテーションを行い、聴衆による「一番読みたい本」=「チャンプ本」の決定をするという一連の流れのことをいう。

(参考 公式サイト <http://www.bibliobattle.jp/>)

今回は、小学4年生の実態にあわせ、制限時間を5分間ではなく3分間の設定にした。同じ本を選んだ3、4人グループでビブリオバトルの予選やディスカッションを行い、勝ち進んだ児童が準決勝、決勝と同じ流れで行っていく。決勝では、ビブリオバトルに取り組んだことのある5年生に参加してもらいディスカッションや投票に加わってもらって、ビブリオバトルに対する意欲を高めて行きたい。また、チャンプ本は山梨小図書室に掲示できるように司書と連携する。

(2) 児童の実態 (男子11名 女子10名 合計21名 H3.0.12.19実施)

本単元を指導するにあたり、次のような意識調査を行った。

質問		解答			
		はい	どちらかとい えば、はい	どちらかとい えば、いいえ	いいえ
1	話すことは好きですか。	9名 (43%)	4名 (19%)	7名 (33%)	1名 (5%)
〈はいの主な理由〉		〈いいえの主な理由〉			
<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを伝えるのが好き。3名 ・考え方聞いてもらいたい。2名 ・意見を言うのが楽しい。 ・共感してもらえ、笑顔になるから。 ・考えが広がるから。 		<ul style="list-style-type: none"> ・緊張して上手く話せない。3名 ・恥ずかしい。2名 ・何と言えばいいかわからない。2名 			
2	聞くことは好きですか。	11名 (52%)	6名 (29%)	3名 (14%)	2名 (10%)
〈はいの主な理由〉		〈いいえの主な理由〉			
<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことを知れ、楽しい。5名 ・相手のことがわかるので <p>考え方聞くのが好き。5名</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・面倒くさい。 ・話が長い。 			
3	相手にあわせた話し方が できますか。	11名 (52%)	3名 (14%)	7名 (33%)	0名

	<p>〈はいの主な理由〉 どのようなことに気をつけているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年には優しい言葉遣いで話す。 8名 ・先生や目上の人には丁寧な言葉遣いで話す。 3名 				
4	相手の話をしっかりと聞く ことができますか。	3名 (14%)	8名 (38%)	9名 (43%)	1名 (5%)
	<p>〈はいの主な理由〉 どのようなことに気をつけているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を向く。 3名 ・目を見る。 2名 ・先生や日直が前に出たら話をやめて聞く。 ・先生の聞き逃さないようにする。 				
5	相手にわかつてもらえる ように話すことはできま すか。	3名 (14%)	6名 (29%)	10名 (48%)	2名 (10%)
	<p>〈はいの主な理由〉 どのようなことに気をつけているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいようにゆっくり話す。 2名 ・相手が分かるように簡単に話す。 ・身振りをつけて分かりやすく話す。 2名 ・自分の言葉で話す。 				
6	話し合うことは好きです か。	11名 (52%)	6名 (29%)	3名 (14%)	0名
	<p>〈はいの主な理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな意見が聞ける。 12名 ・たのしいから。 好きだから。 3名 ・意見を言うのが好き。 ・得意だから。 	<p>〈いいえの主な理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手だから。 3名 ・周りの様子が気になるから。 3名 ・恥ずかしいから 			

本学級の児童は、男女の仲がよくどの教科においても活発に学習に取り込むことができている。アンケートから話すことが好きな児童は62%，聞くことが好きな児童は81%である。一方で、「相手の話をしっかりと聞くことができますか。」「相手にわかつてもらえるように話すことはできますか。」に対して「はい」と答えている児童は14%であった。学習には意欲的に取り組めてはいるものの実際にできているのかを問われると自信がない児童が多い様子がうかがえる。話し合うことが好きな児童は81%ということから話し合うことへの関心は、高いといえる。

(3) 指導観

ビブリオバトルを行うにあたり、2学期に5年生が授業の中に取り入れ行っていたことから5年生にモデルとなってもらう。チャンピオンになった児童に4年生の前でチャンプ

本になった本の発表をしてもらい、ビブリオバトルへのイメージをつかませていく。チャンピオンの発表の中でどんな話し方が聞き手にとって読んでみたいと思わせていたのかを考えさせながら今までの話し方を振り返り、話し方について考えていく。また、同時に聞き方も考えていく。新学習指導要領の3・4年生の話すことの目標になっている「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えること。」「話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫すること。」「聞くことでは、「必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。」を意識させながらあてのカードを活用する等して指導に取り組んでいく。

ビブリオバトルの学習の前に「ごんぎつね」の学習を行っている。ビブリオバトルに取り組むにあたり、ビブリオバトルをする本を「きつねに関わる本」に絞り進めていく。小グループに分かれて「きつね」の本に絞ることにより、前時に学習した「ごんぎつねのごん」の性格と自分の選んだ本に出てくるきつねの性格を比較し、共通点や相違点にも着目しやすくなるのではないかと考える。

ビブリオバトルを行ったあとには、そのグループごとに司会、記録、の役割をつくり、ディスカッションを行う。友達の話し方や聞き方など良いところに気付かせ、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめていきたい。最終戦には、5年生や先生方を招き、ビブリオバトル決勝戦を行う。チャンプ本になった本は、図書室に展示して全校に紹介するようにし、最後まで意欲を継続させていけるように進めていきたい。

3 単元の目標

- ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をすることができる。
(思考力、判断力、表現力等一話すこと)
- ・必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。
(思考力、判断力、表現力等一聞くこと)
- ・共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッションをすることができる。
(思考力、判断力、表現力等一話し合うこと)
- ・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができます。
(思考力、判断力、表現力等一書くこと)
- ・「ビブリオバトル」で、自分のお勧めの本を紹介する活動を通して思いや考えを伝え合うとしている。
(学びにむかう力、人間性等)

4 指導計画（7時間扱い）

学習過程	時配	学習内容と学習活動	評価規準（評価の観点・評価方法）
一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルの内容とルールを知る。 ・5年生のチャンピオンの発表を聞き思ったことや気づいたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルの目的を理解しようとしている。 (学びにむかう力、人間性等) ・発表を聞き思ったことや気づいたことを発表する。 (聞くこと) (話すこと) (発言)
二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容を整理し、メモを作成する。 ・どのような表現を使えば相手に伝わるのか考える。また、様々な言葉の表現方法を知り使いたい表現を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容を整理し、メモを作成している。 (書くこと) (ワークシート)
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する本について、スピーチをする内容のメモや発表原稿を作成する。 (メモ→発表原稿) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勧めの本を紹介するメモを作成している。 (書くこと) (発表原稿)
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルの発表方法について考える。 (ペーパーサート・お気に入りの絵・音読) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のお勧めの本を発表する方法を考え練習している。 (話すこと) (ワークシート)
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿をもとにスピーチをする練習をする。 ・時間を計り、3分程度の発表になるように加除訂正する。 ・グループが違う友達と見合い、アドバイスを出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を考えながら友達と練習している。 (話すこと) (発言)
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「ビブリオバトル」予選を行う。 (同じ本を選んだ3人グループ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をしている。 (話すこと) ・共通点や相違点を考えながら聞いたりしている。 (聞くこと) ・共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッ

			ションをすることができる。 (話し合うこと) (発表) (ワークシート)
7		・「ビブリオバトル」準決勝を行う。 (別な本を選んだ3人グループ)	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をしている。 (話すこと) ・共通点や相違点を考えながら聞いたりしている。 (聞くこと) ・共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッションをすることができる。 (話し合うこと) (発表) (ワークシート)
8 本 時		・「ビブリオバトル」決勝を行う。 ・「ビブリオバトル」を行い「チャンプ本」を決定する。 (5年生や先生方に聴衆して投票してもらう)	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をしている。 (話すこと) ・共通点や相違点を考えながら聞いたりしている。 (聞くこと) ・共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッションをすることができる。 (話し合うこと) (発表) (ワークシート)
四 次	9	・チャンプ本を図書室に展示し、全校に紹介する。	

5 本時の指導

(1) 本時の目標

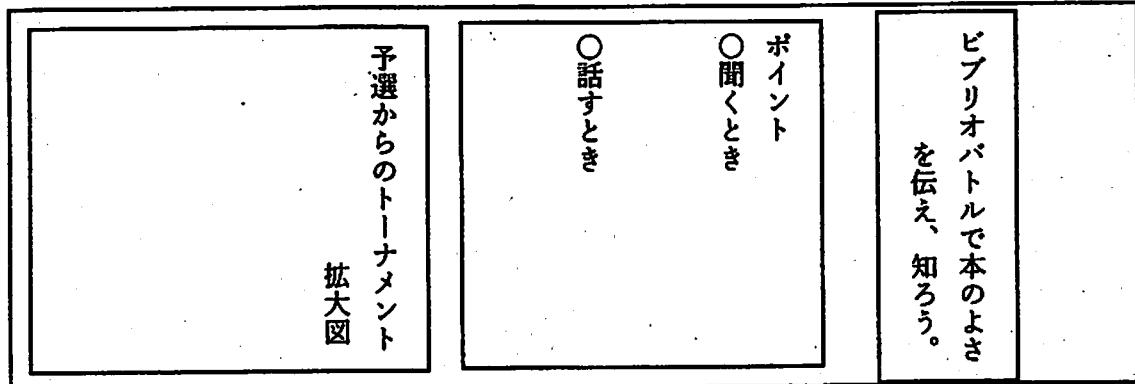
- ・言葉の抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をすることができる。
(思考力、判断力、表現力等一話すこと)
- ・相違点や共通点を探しながら友達の発表を聞くことができる。
(思考力、判断力、表現力等一聞くこと)
- ・共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッションをすることができる。
(思考力、判断力、表現力等一話し合うこと)

(2) 本時の展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	1 本時の学習内容を確認する。 ・「ビブリオバトル」の決勝の流れを確認する。	・決勝までの流れを模造紙で掲示し、振り返られるようにする。	模造紙 (トーナメント)
3	2 本時のめあてを確認する。 ・聞く人、話す人のポイントを振り返る。	・聞く人、話す人の観点を板書して、意識づけをする。	
	「ビブリオバトル」で本のよさを伝え、本の魅力を知ろう。		
15	3 代表者3名のビブリオバトルを行う。 ・「ともだちひきとりや」 ・「ごめんねともだち」 ・「てぶくろをかいに」	<ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルシートを配付し、書き方を説明する。発表後にすぐにメモをするように伝える。 ・書くことが苦手な児童には、聞く人、話す人の観点が出来ていたか書くように伝える。 ・発表者と発表者の間にシートに記入する時間を設ける。 <p>○抑揚や強弱、間の取り方を工夫しながら、本の紹介をしているか。 (話すこと)</p> <p>○相違点や共通点をふまえてシートに記入しているか。(聞くこと)</p> <p>○共通点や相違点に着目し、考えをまとめながら発表やディスカッションしているか。(話し合うこと)</p>	ワークシート ストップウォッチ 司会者進行シート
10	4 ディスカッションを行い、質問や感想を伝えあう。	・司会者に司会者進行シートを配布し、それをヒントにしながらディスカッションの進行を助言する。	

5	5 投票を行う。 ・3名の中から1名に投票する。 ・投票を待っている間、今日の授業の感想を書く。	・学年別に集めて教員が投票を集計する。	投票用紙
4	6 結果発表を聞く。	・お互いに讃え合い拍手をさせる。	
5	7 本日の活動を振り返る。 ・今までの感想や今日の感想を発表する。	・今日までの頑張りを認めながらこれからへの意欲を高める。	

(2) 板書計画



V-2 手立てに対する児童の変容

手立て1 学習の見通しと意欲付け

① 児童と一緒に学習計画を立て、活動目的をはっきり意識させて、計画表を提示することにより授業の見通しがもたらせることができた。毎回どのような活動をするのか意識し、ビブリオバトルを行うまでに準備が足りない部分を各自練習や用意を進んで行うことができた。

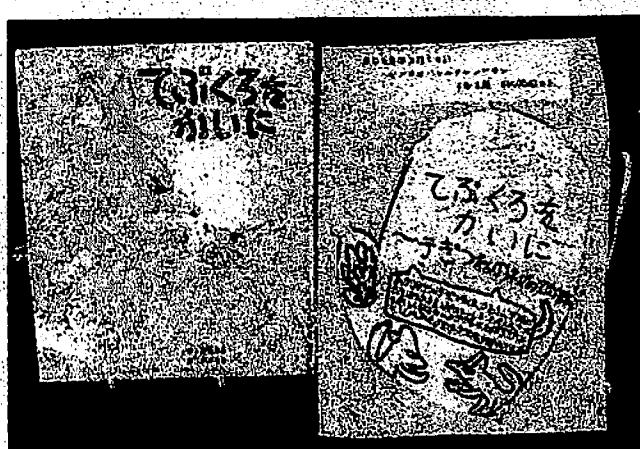
1 () いざないうちに計画を立てる。	2 () 年生ひとりごとオバトルを始めよう。	3 () チャンピオンの話し方や本の読み方についての勉強会をつくる。
4 () ビブリオバトルで本のよさを伝え、知ろう。	5 () ハナオバトルの練習をする。	6 () ことあがめながらためめ深め的に発表するための心を磨き育むことを目標とする。
7 () 次回もアドバイスを貰へ。	8 () 田へ出はるのよつに田へ出るがあるひなねん。	9 () 田へ出はるのよつに田へ出るがあるひなねん。
	9 () あらうじ・春ぐるみ田・かわなぎこつ・心に残った場面・登場人物・作者(下書きをする)。	10 () あらうじ・春ぐるみ田・かわなぎこつ・心に残った場面・登場人物・作者(下書きをする)。
	11 () 話す・下書き・準備	12 () 話す・下書き・準備

- ② 5年生のビブリオバトルのチャンピオンが4年生のモデルとなり、提示したことにより、イメージがふくらみ取り組みやすかった。また、そのチャンプ本を読んでみたいという気持ちになった児童が多く、そのためには聞き手に問いかける語り口が効果的だと気づくことができた。また、他にもどのような話し方をすれば聞き手が読んでみたいという気持ちになるのか考えを出し合い、自分なりに発表の手順を考えて本を紹介することができた。



ビブリオバトル
1時間目
5年生のチャンピオン
が4年生へ自分のおす
すめの本を発表しにき
てくれました。

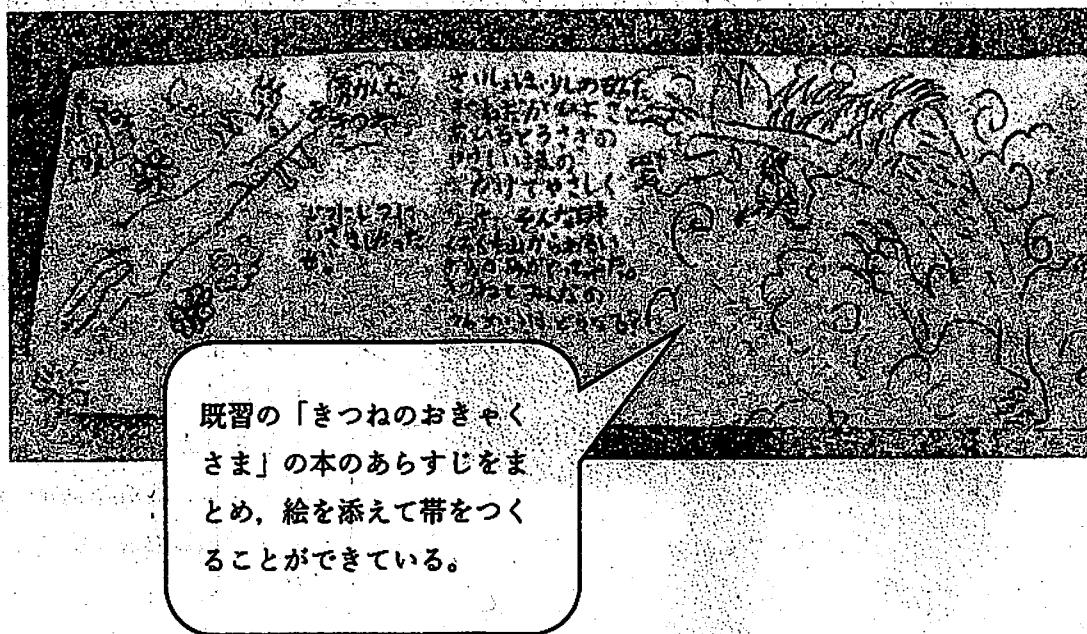
- ③ 「チャンプ本」に選ばれた本の紹介コーナーを設けることを知らせることによって、2回目も行いたいという意見があり、更なる学習意欲を生むことができた。



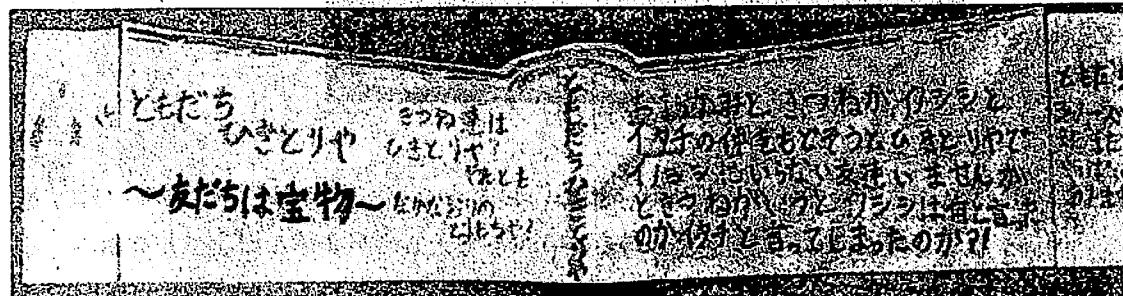
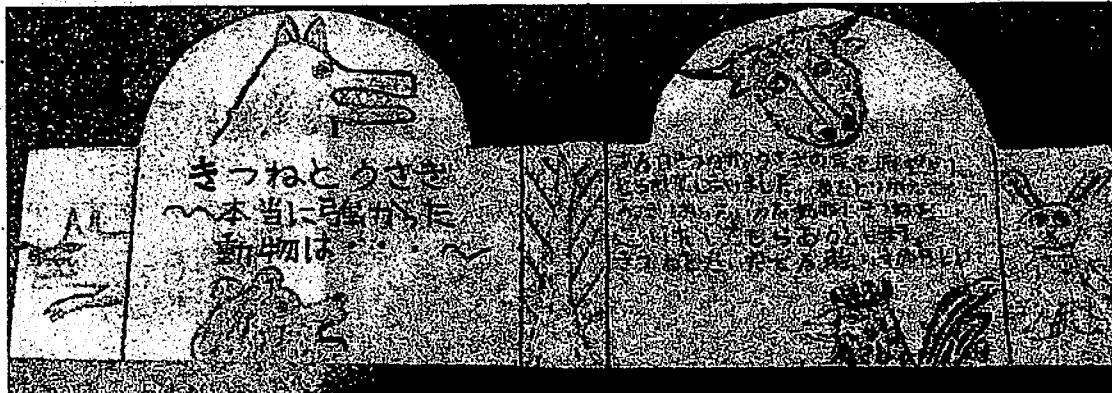
チャンピオンが決定し
たあとに図書室に掲示
しました。

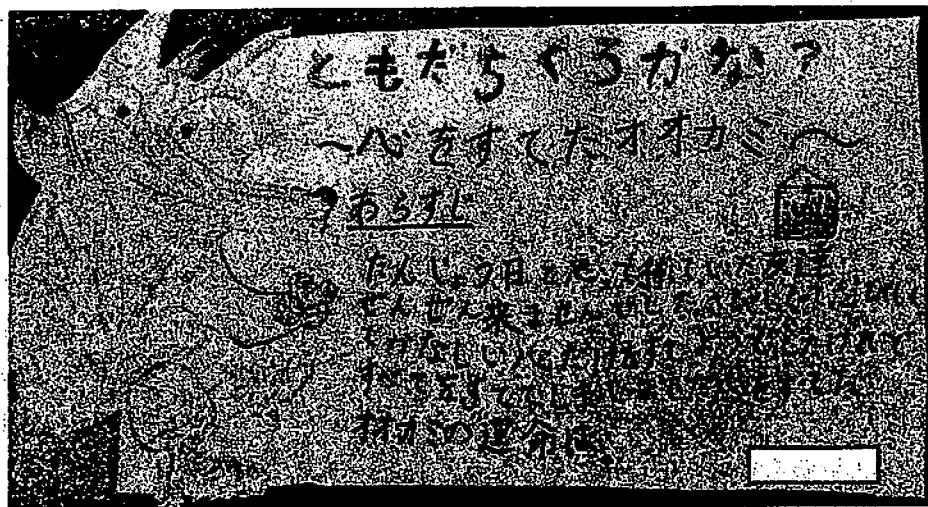
- ④ 2年生のときに学習した「きつねのおきやくさま」を選択する本の候補に、取り入れることにより、本の概要をつかみ、構成を考えるのが苦手な児童がとり組みやすくなつた。既に内容を把握しているので文の構成を作ることがスムーズにできた。

↓普段本や文を読むことを苦手としている児童のきつねのおきやくさまの帶



- ⑤ 紹介する本のポップや帯をつくる活動に事前に取り組むことで、楽しんで物語の概要を把握することができた。その後、ビブリオバトルに取りかかったので詳しい内容が把握でき、取り組みやすかった。





手立て2 学習形態や方法

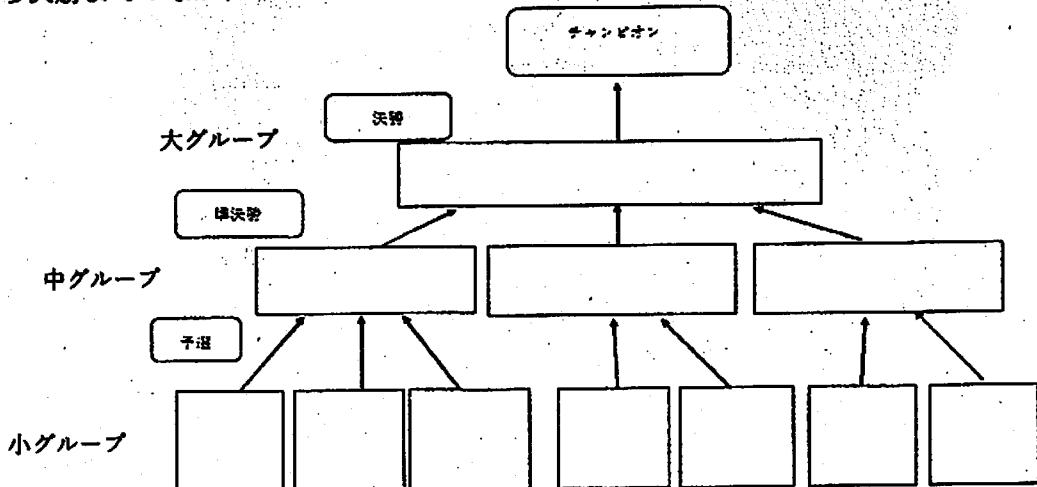
- ① 本のテーマをきつねが主人公の本と絞ることによって、共通点や相違点が見つけやすく初めてピブリオバトルに取り組む4年生の実態にあっていた。

〈ピブリオバトルで使用した本〉

- ・「きつねのおきやくさま」 あまんきみこ
- ・「きつねのホイティ」 シビルウェッタシンハ
- ・「てぶくろをかいに」 新美南吉
- ・「きつねとうさぎ」 ロシアの昔話
- ・ともだちやシリーズ 内田倫太郎
- ・ちょっとまって、きつねさん カトリーン・シェーラー

- ② 同じ本を選んだ共通の小グループ内の発表から→中グループ→大きなグループと徐々に形態を大きなものへと変かることにより、話す側、聞く側、ディスカッションの回数を重ねることができた。そのため、話し方、聞き方、ディスカッションの仕方を徐々に上達させることができた。

↓予選から決勝までのながれ



③ ディスカッションや投票の場面を取り入れることによって、聞く側はチャンプ本を選ぶために話す側の発表を聞き漏らさないように意識して真剣に聞き、発表側も聞く側をみながら相手に伝わるように意識して話すことができた。決勝戦は、予選から数えると3回目となるので段階を追って発表者側の話し方も上手になり、前をみて抑揚をつけながら間の取り方も意識して発表することができた。また、予選で敗退した児童も何度も家で練習していくなどして、普段の発表の仕方より上達が見られた。また、聞き方も中心を逃さずに聞こうという姿勢が見られ、ワークシートの気付きからも上達していることがわかった。(動画参照)

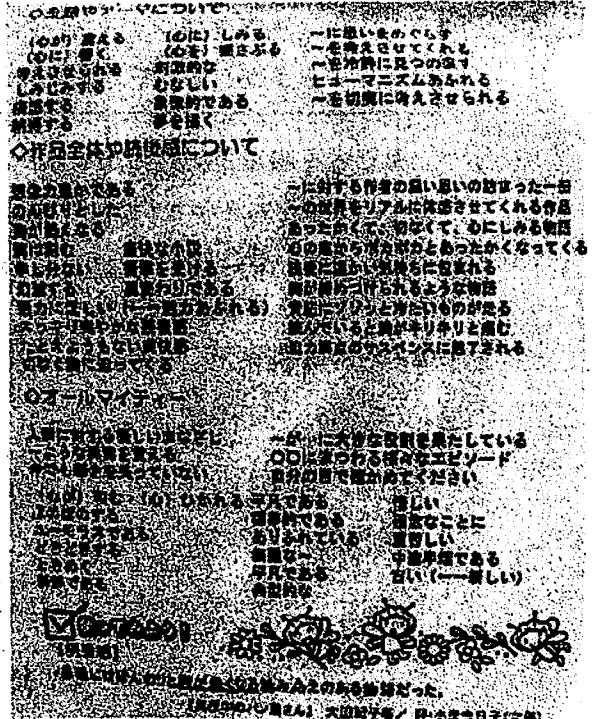
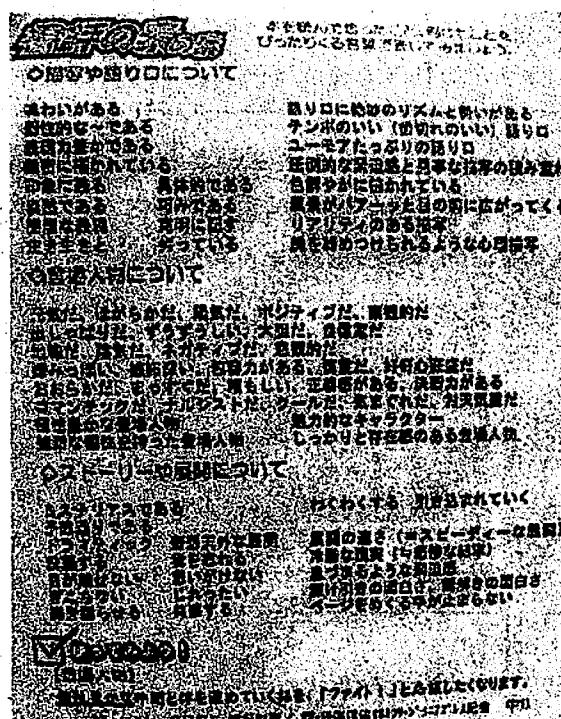
手立て3 効果的な伝え方の工夫

① 相手に読んでみたいと思わせるような原稿の構成を考えるために、様々な言葉の表現方法を指導し、活用させた。そのため、普段の発表の表現の仕方より、魅力的な話し方を工夫できている子が多くいた。

例) おどろきました。→衝撃を受けました。興奮を覚える。

感動しました。→胸が熱くなりました。心にします。等

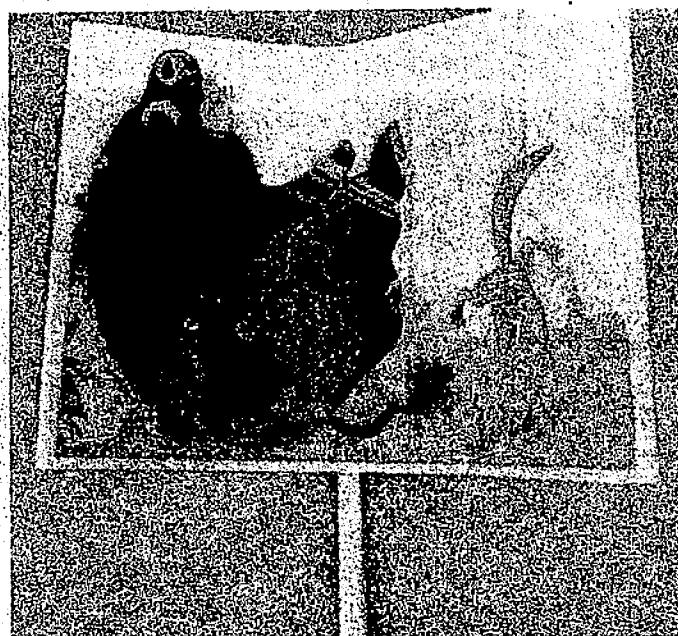
↓参考：千葉市教育委員会 めざせ！ビブリオ・マスター



- ② ペーパーサート・さし絵・音読の3つにしぼって、効果的に発表することによって、聞き手が相違点や共通点に気づきやすい発表をすることができた。



児童が描いたきつねのホ
イティの挿絵
ホイティが逃げる場面



「ともだちひきとりや」の自作の
ペーパーサート

- ③ メモで一度整理させることによって自分が伝えたい内容を吟味することができ、相手に伝わりやすい構成を考えることができた。

↓メモ①

やさすじ	轟・本の登場	作習うじこ	心に残った(出来たり) 読書キャラクター	登場人物の特徴	挿入理由	分量

児童の実際のメモ

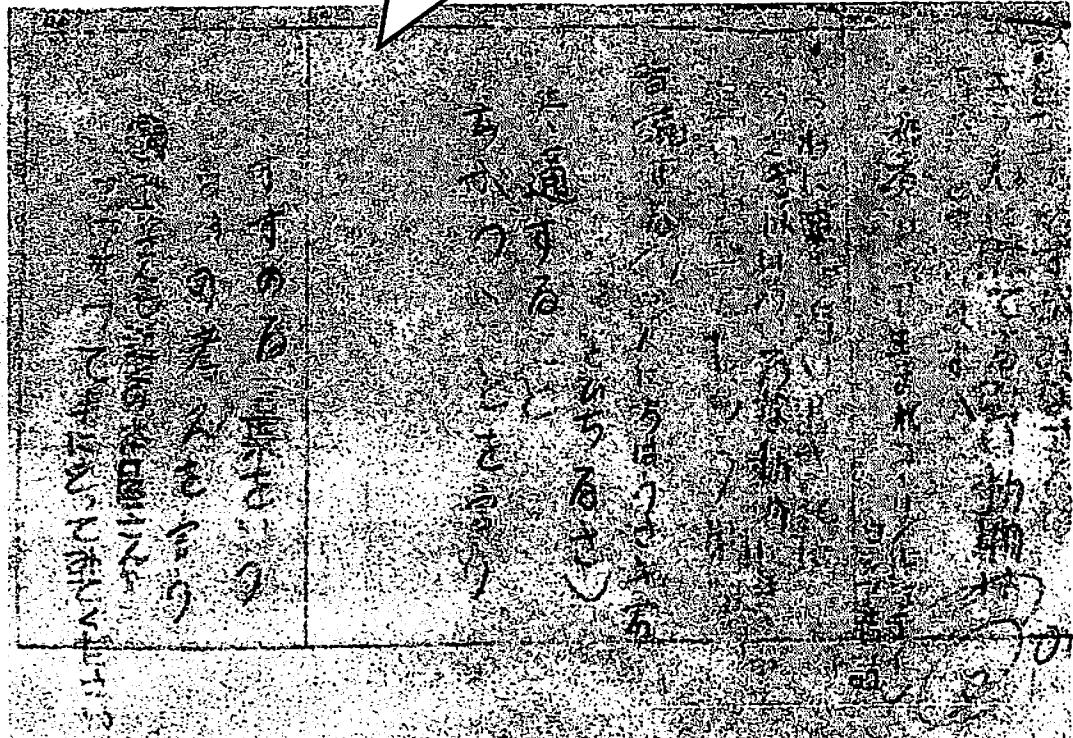
思い浮かぶところからメモをするようにした。

轟	音	音	音	音	音	音
音	音	音	音	音	音	音

↓メモ②

終わり	中	始める

メモ①をもとに始め・中・終わりの順序でメモ②をつくっていった。



(練習風景 お互いに見合う場面)



話す構成を書き終えた人から個人で練習し、その後、友だちと見合う様子。



ストップウォッチで時間をはかり読む練習をしている様子。

(決勝戦場面)



(決勝戦ディスカッションの場面)



(聞いたあとにメモをする場面)



決勝戦
5年生を招いてディスカッションする様子

VI 成果と課題

〈成果〉

- 児童にとって身近な「お楽しみ会」について話し合うことをゴールに設定したため、全員が意欲的に話し合い活動に参加することができた。
- 話し合い BOX から自分たちの興味のある内容を話し合ったため、思いや考えを自ら積極的に伝えることができた。
- 身近にある題材をもとに学習の目的を設定したり、学習形態を工夫したりすることによって意欲を継続させることができ、児童は最後まで進んで学習に取り組むことができた。
- ピブリオバトルという方法を取り入れたことによって、普段話すことを苦手としている児童も、意欲的に楽しく取り組むことができた。どうすれば自分の思いや考えが相手に伝わるのか、メモを活用し、言葉を吟味しながら一生懸命に考える姿が見られた。
- 小グループから徐々にグループを大きくしていくことで、よい緊張感が生まれ、話し方、聞き方がていねいになり自信をもって表現できるようになっていった。
- 授業を終えたあとに、別な本でまたピブリオバトルを行いたいという児童の声が半数以上あり、読書意欲や次の学習への意欲を高めることができた。
- 話し合い活動やピブリオバトルの活動を通して、子ども達は思いや考えを伝えることが得意になった。児童たちのワークシートや授業の振り返りには、「前よりうまくできた。」ということ意見が多くあった。また、「次は、もっとこうすればいいのでは。」という自身の課題を見つけられる児童もあり、次の学習への意欲や自信につなげることができた。
- 相手や目的を意識して取り組む活動の中で、主体的に思いや考えを伝えようとする児童が増えた。

〈課題〉

- 進行がスムーズにできない児童には、スムーズに進めることができる児童をアドバイザーとしてそばに置き、フォローをしてもらうことも考える必要があった。
- 話し方はうまくなつたが、場に応じた声の出し方は不十分だといえる。
- 授業計画の7時間では、発表原稿準備やペーパーサポートの準備が間に合わない児童がいた。休み時間や家庭学習での取り組みが必要となった。
- 発表の場面で友だちの変容に漠然と気付けてはいるが、そのよさをどのように表現し、記録すればいいのかわからない児童への手立てが必要だった。
- ディスカッションの経験が少ないために自分の意見を控えてしまう児童が見られた。また、一部の児童だけでの話し合いになりがちなグループもあった。そのため、どの授業においても普段から話し合いの場を多く設ける指導の工夫をしていかなければならないと感じた。

●話す力・聞く力をつけていくそのためには、読む力、書く力、全て必要になってくる。短時間で身につけるのは難しい。そのため、今回のような取り組みや日常からの生活を活用した小さな取り組みを大切に重ね、力をつけていくことが大切だと感じた。